

## ○平成29年度第42回大井西中学校入学式・式辞

校庭の花々も美しく咲き競い、本日ここに平成29年度第42回入学式を挙げるあたり、大井西中学校PTA会長 宮崎克彦様をはじめ多数のご来賓の皆様のご臨席と保護者の皆様のご参列をいただき、新入生89名を迎えられましたことは、校長として大変うれしく厚く御礼申し上げます。新入生の皆さん、入学おめでとう。保護者、ご家族の皆さま、お子様のご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を教職員、在校生一同心よりお待ちしております。只今の89名の新入生の皆さんの目の輝き、返事の仕方そして入場時の立ち居振る舞いは大変立派でした。きっと素晴らしい中学生になってくれると期待しています。

さて義務教育最後の3年間となりました。大井西中学校は皆さんが大人へと成長するための学校です。この3年間で誰とでも仲良くでき、誰からも好かれ頼りにされる人になるための様々な力を身に付けてほしいと思います。大井西中学校では「優しく 賢く 逞しく 今が大切」を学校教育目標としています。もう少しわかりやすく言えば、相手を思いやる優しい心に溢れ、自ら進んで勉強し、病気やケガに負けない逞しい体をもつ生徒を育てるということです。そんな目標を達成させるために、これから皆さんに大切にしてほしいことをお話します。

私たち全ての教職員は、皆さんに幸せな中学校生活を送ってほしいと願っています。しかし充実した中学校生活は、先生や家族から一方的に与えられるものではありません。そこで皆さんに幸せな中学校生活を送るための“魔法の言葉”を教えます。それは「自分がされて嬉しいことは他の人にもしてあげよう。自分がされて嫌なことは絶対他の人には止めよう」です。当たり前すぎて魔法の言葉とは感じませんか。当たり前を感じるこの言葉は豊かな人間関係を築く上でもとても素晴らしい言葉なのです。幸せな学校生活とは、物事が自分の思い通りに運ぶことではありません。自分の夢や希望が叶うことでもありません。学校という集団生活の場では、必ず仲間との心のふれあいが必要となります。幸せな学校生活とは、自分一人ではできないのです。自分が仲間から頼りにされ、そして感謝され、お互いが支え合う中で初めて幸せな学校生活が送れると信じています。どうか皆さん、自分がされて嬉しいことをぜひ周りの友だちにして下さい。自分を慈しむように周りの友だちに温かく優しい心を注いでください。すると自然と笑顔溢れる温かな人間関係が生まれてきます。そんな豊かな人間関係からは絶対にいじめは起こりません。そして心が安定すれば、自然と学力や体力も向上し、本当の心の幸せが得られるのです。ありがとうという言葉がたくさん言い合えるといいですね。ありがとうは日本語の中で一番素敵な言葉です。ありがとうと言われて嫌な気持ちになる人はいません。ありがとうという言葉がクラスや学校全体に溢れる日が一日も早く来ることを願っています。

保護者の皆様、本日より大切なお子様をお預かり致します。お子様の命を守り、安心かつ安全な学校生活を送れるように全力で指導に当たってまいります。そして心を大切に教育を進めてまいります。ただし子どもたちの育ちの場は学校だけではありません。学校・家庭・地域の連携が極めて重要であり、お互いを尊重して、補完し合いながら信頼関係を築いて初めて効果が上がるものと考えます。そのためにこれからできるだけ本校の教育活動を発信してまいります。

最後に新入生の皆さんに知っておいてほしいことがあります。本日の入学式を迎えるに当たり、上級生が学校を磨き、教室を飾り、体育館を整え、歌声を響かせ、心温まる出会いの場をつくってくれました。私は上級生の皆さんに心から感謝しています。ありがとう。また本校の教職員も夜遅くまで入学式に向けて様々な準備をしてくれました。校長として感謝するとともに誇りに感じています。大井西中学校には、このように皆さんを支えながら、共に寄り添う素敵な上級生や先生方がいます。安心して学校生活を送って下さい。

結びにこれから本校は、保護者や地域の皆さまと共に子どもたちや教職員の笑顔が溢れる温もりのある学校づくりを進めてまいります。今後とも本校の教育活動に対しまして、一層のご理解・ご協力のお願いを申し上げ、式辞といたします。

平成29年4月10日

ふじみ野市立大井西中学校長 山崎 祐一